

あさひかわ男女共同参画だより

ハーモニ

令和5年3月 第19号



市民の企画提案による協働のまちづくり事業「つなぐ・つながる！女性が笑顔で踏み出す第一歩2023」
主催者（ノースコネクション）・イベント出展者・運営ボランティアの皆さん

P 1 令和4年度 of 取組紹介

- ・男女共同参画・女性活躍 啓発講座
- ・市民の企画提案による協働のまちづくり事業
- ・ワーク・ライフ・バランス推進事業者表彰

P 5 特集「性の多様性」

- ・LGBTQ+
- ・パートナーシップ制度て何？
- ・啓発講座の開催

令和4年度の取組紹介

男女共同参画・女性活躍 啓発講座

旭川市では男女共同参画社会の実現を目指し、市民に向けた各種啓発事業を実施しています。令和4年度は、女性の多様な働き方や男性の家庭参画への提案をはじめ、経営者や大学教授として活躍する女性を講師に招いたセミナーや、仕事と生活の両立支援に関する企業向けセミナー、DV被害や性的マイノリティに関する出前講座を実施しました。

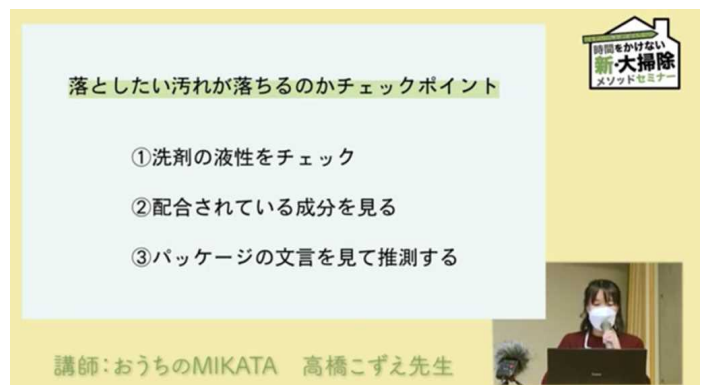
「時間をかけない新・大掃除メソッドセミナー」

令和4年11月15日・29日・12月6日 午後7時～8時
旭川市市民活動センター CoCoDe 研修室午後

11月・12月には年末の大掃除を見越し、お風呂・換気扇・窓拭きと、3回にわたって効率的にキレイにできる掃除方法の連続講座を開催し、のべ83名が参加しました。

講師には家事代行サービスを行う(株)クラシカルの高橋こずえさんを招き、洗剤の選び方から具体的な手順まで、プロの技を伝授。

男性の参加者や3回全て受講された方も多く、連続講座の間に、講座で習った方法を早速実践した方も。皆さん、年末の大掃除に向けて準備万端な様子でした。



「掃除で最も大事なことは、片付けてから始めること」
「予め段取りを考えてから始めると、短時間で効率的に進められます」と講師の高橋さん。

「“わたしらしく働く”ための3ステップ」

令和5年1月16日・30日・2月16日 午前10時～11時
旭川市市民活動センター CoCoDe 研修室

1月から2月にかけては、女性に多様な働き方を提案する働き方連続講座を開催し、のべ50名の方が参加しました。

講師は、旭川で女性の活動をサポートする市民団体・ノースコネクションの秋元代表・高塚さん・福屋さん・渡辺さん。

第1回ではメンバー4人全員が登壇し、これから一步を踏み出す女性や、現在の活動に悩みを抱える女性へ、それぞれの経験からアドバイスを行いました。第2回は会社員経験を持つ起業家の秋元代表による、起業家として働くことへの考え方、第3回は自ら動画配信も行う渡辺さんによるSNS活用法とLive配信にお



起業家、自営業者、フリーアナウンサー、会社役員など、それぞれ異なる働き方をしながら、一緒に女性の活動を応援しているノースコネクションの4名。

ける留意事項のレクチャーが行われました。

いずれの回も、講師の体験を踏まえた具体的なアドバイスに皆さん大満足との感想でした。

女性のためのキャリア形成ワークショップセミナー

「Know You Can ～ そう。あなたなら、できる。」

【協力】アクサ損害保険株式会社【共催】経済総務課

令和5年1月29日（日）午後2時～4時
市民活動センター CoCoDe ホール

市内企業等で働く女性のキャリア形成とモチベーション向上をテーマに、東京から旭川市に進出してコールセンターを開業しているアクサ損害保険(株)代表取締役社長兼CEOの佐伯美奈子さんを講師に招いて、基調講演やワークショップ、参加者交流を行いました。

当日は、20代から50代の働く21名の女性が参加し、佐伯さんの失敗談やそこから学んだ考え方、働く上で意識していることなどについて、聴き入っていました。

また、グループ毎のワークショップでは活発な意見交換が行われ、参加者同士で連絡先を交換するなど、普段の業務ではなかなか接点の持たない女性同士の交流は新鮮な体験だったようで、大いに盛り上がっていました。



「失敗することを怖がらないで、時には背伸びも必要。育児の経験も働く上で貴重な財産になる。無駄なことは何もない。」佐伯CEOの言葉に、皆さんとても元気づけられた様子でした。

その他の研修会（出前講座など）

開催日	テーマ	内 容
7月14・21日	出前講座 男女共同参画について	大学生を対象に、男女共同参画の概説について、2回にわたり講座を実施。
8月4日	出前講座 ワーク・ライフ・バランス、 男性の育児休業取得について	ワーク・ライフ・バランスの重要性や、育児介護休業法の改正ポイントを解説。
9月1日	出前講座 ワーク・ライフ・バランス、 男女共同参画、性の多様性について	性的マイノリティを含む男女共同参画の概説とワーク・ライフ・バランスの重要性を解説。
10月7日	出前講座 性の多様性について	当事者を講師に招き、学生を対象に、性的マイノリティへの対応支援の考え方を解説。
10月14日	(株)パソナ共催（厚生労働省受託事業） 仕事と育児・介護の両立支援セミナー	企業の人事・労務担当者を対象に、中小企業診断士による両立支援の具体的な取組方法や、関係法の改訂について解説。
10月26日 1月25日	出前講座 デートDVについて	女性支援を行う市民団体を講師に招き、高校生を対象に、デートDVに関する講座を実施。
11月5日	中央図書館共催（図書館まつり・図書館講座） バナナの2つの世界	北星学園大学・小松かおり教授を講師に招き、異文化社会の生活や人間関係への考察を通して男女共同参画の理解を深めた。
2月5日	旭川生涯学習フェア講座 互いの命を尊ぶ 男性戸籍を得て、17年目の音楽家 敦賀ひろきと語り合おう	旭川生涯学習フェア「まなびピアあさひかわ」の一環として、性の多様性に関する講座を開催。

令和4年度 市民の企画提案による協働のまちづくり事業

ノースコネクション × 総合政策部女性活躍担当

つなぐ・つながる！ 女性が笑顔で踏み出す第一歩2022

市内で女性の成長・チャレンジ・交流の場を提供し、応援するセミナーや交流会など各種イベントを開催しているノースコネクションが、「つなぐ・つながる」をテーマに、何かを始めたいと考える女性を全力で応援するイベントを開催しました。

令和3年度に続き2回目の開催となった今回は、ステージイベントや出展ブースなど、さらに充実の内容となり、来場者からは「来年は自分も出展したい！」との声も聞かれました。女性を応援する夏のイベントとして、市民にも着実に浸透してきています。

令和4年7月2日（土）

旭川市市民活動センター CoCoDe



朝のオープニングは、マミーズバンドの楽しい演奏で元気にスタート！



ステージでは「ワークスタイル座談会」を開催。起業家・企業等で働く人・学生がそれぞれの目線で「働き方」について語り合いました。



それぞれのブースでは楽しい取組がそこかしこで開かれていて、あれもこれも気になるものばかり！

ハンドメイド作品の販売はもちろん、屋外でのヨガをはじめ着付けやお茶、託児といった体験ものまでメニューがいっぱい。ステージでは学生のディベートや市制100年とのタイアップによる三浦綾子記念館館長の基調講演まであって、朝から夕方まで1日めいっぱい楽しめるイベントとなりました。

「つなぐ・つながる！」は令和5年度もつながっていきます。お楽しみに！

ワーク・ライフ・バランス推進事業者表彰

● 旭川市ワーク・ライフ・バランス推進事業者表彰

旭川市では、男女が共に安心して働くことができる環境づくりを進めるため、「ワーク・ライフ・バランス」（仕事と生活の調和）に積極的に取り組んでいる事業者を表彰しています。

● 令和4年度受賞者

株式会社カワムラと株式会社ルシダスの2事業者を表彰しました。DXの推進やテレワークの積極的な導入など、デジタル化社会を反映した職場環境の取組内容となっています。

表彰式 令和5年1月31日（火）

株式会社カワムラ

総合工事業（建設）



左端 代表取締役社長 川村健太氏

- 労働時間削減に向け、サイボウズを基幹としたDXを推進。勤怠管理システムによる有給休暇取得率の見える化を行い、高い取得率を実現。
- 5連休を取得するリフレッシュ休暇制度の導入、年間休日を前年から5日増の120日とするなど、効率的な働き方を推進。
- 様々な人材育成やキャリアアップ支援に取り組み、独自の子ども手当の支給や保育園と提携した割安の保育料を実現するなど、女性の職場復帰に対する支援に積極的に取り組む。

株式会社ルシダス

マーケティング戦略コンサルティング



左端 代表取締役 池上ジョナサン氏

- 本社勤務の社員が1週間ごとに交代で出社する体制をとるなど、テレワークの積極的な運用を推進。
- 残業時間や有休取得率を外部に向けて発信することで、透明性を確保し、代表自らが所定時間内の退社を奨励し、残業時間の削減と高い有給休暇取得率を実現。
- 福利厚生の一環で、健康支援・生活支援・余暇支援・自己啓発支援として社員が自由に利用できる補助制度を設け、社員の健康増進やモチベーションの向上に取り組む。

市のホームページでは、これまでの表彰者の取組をご覧ください。
ワーク・ライフ・バランスの推進に、ぜひご活用ください。

(<https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/700/735/751/752/d058401.html>)



特集 「性の多様性」

L G B T Q +

- L G B T Q +とは、性的少数者（性的マイノリティ）の総称を言います。



レズビアン・Lesbian
同性を好きになる女性



ゲイ・Gay
同性を好きになる男性



バイセクシュアル・Bisexual
同性も異性も好きになる人



トランスジェンダー・Transgender
身体の性に違和感を持つ人



クエスチョニング
まだ自分の性の在り方について、「わからない」「決めたくない」と感じる人
クイア
性的マイノリティを包括する言葉



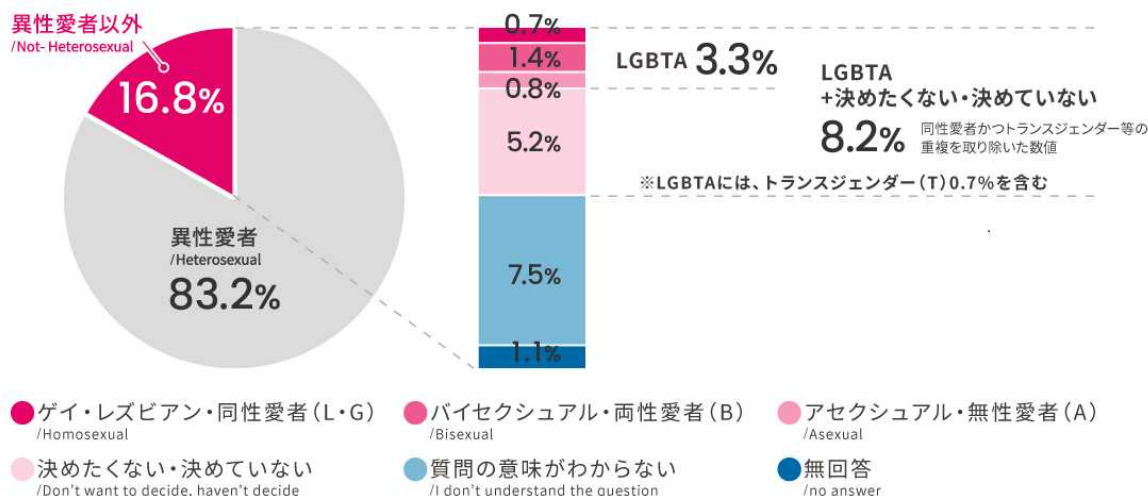
プラス
L G B T Q以外にも様々な性があることを踏まえて、より包括的な意味を持たせるために「+」がつけられる

- 日本のL G B T Q人口は約3～8%であるとの調査結果もあります。

日本のLGBT人口は約3%～8% (大阪市での調査)



Proportion of LGBT people in Japan = 3%-8% (in Osaka City) ※全国調査はされていない



- L G B T Q + 関連用語

アライ

性的マイノリティの方が生きづらい社会を変えていくために、当事者の味方や仲間として共に行動する人。

カミングアウト

自身の「性の在り方」を他者に公言すること。

アウトティング

本人の同意なしに、その人の性の在り方を第三者に暴露すること。

出典：NIJI BRIDGE <https://nijibridge.jp/data/>
大阪市民の働き方と暮らしの多様性と共生にかんするアンケート
村田晶子 森脇健介 矢内琴江 弓削尚子
『ジェンダーのとびらを開こう 自分らしく生きるために』大和書房
プライドハウス東京『性的マイノリティ (LGBTQ+) の自殺対策を自治体で進めていくために
～「自殺総合対策大綱に基づいて」～』

パートナーシップ制度って何？

● パートナーシップ制度

自治体が独自にLGBTQ+カップルに対して、結婚に相当する関係と証明書等を発行し、様々なサービスや社会的配慮を受けやすくする制度です。

● 全国における導入自治体数

(令和5年1月10日時点)

255自治体

道内では、令和5年2月現在、札幌市・江別市・函館市・北見市・帯広市・苫小牧市・岩見沢市が導入しています。

旭川市は令和6年1月の導入を目指して取組を進めます。

〈都市間相互連携〉

パートナーシップ制度は自治体が独自に定めるものなので、宣誓をした人が他の自治体に転出したときは、転出先の自治体で新たに手続きをし直す必要があります。

こうした負担を軽減し、移転に伴う手続きを簡素化するため、制度を持つ自治体間で連携を結ぶ動きが出てきています。

道内では、札幌市・江別市・北見市・苫小牧市・岩見沢市の5市間で協定が結ばれています。

令和4年度 旭川生涯学習フェア「まなびピアあさひかわ」講座

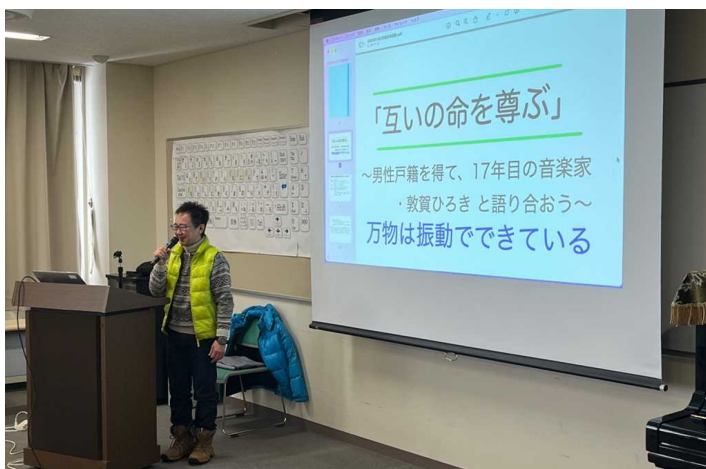
互いの命を尊ぶ ～ 男性戸籍を得て、17年目の音楽家 敦賀ひろきと語り合おう

令和5年2月5日（日）
神楽公民館2階 講座室

音楽家の敦賀ひろきさんを講師に招いて、幼少期からのことや性別適合手術、社会や家族との折り合いなど、自身のこれまでの経験についてお話いただきました。

当日は、事前申込を超える31名の方が参加され、熱心に耳を傾けていました。

参加された方は、「誰もが生きやすい社会になるよう努力したい」、「相手を知り尊重することを大切にしたい」、「魂が揺さぶられる話であった」など、感無量の様子で、敦賀さんとの語り合いも充実したものとなりました。



LGBTQなどとカテゴライズするのではなく、互いを「知る・感じる・尊重する」ことが大事と話す敦賀氏



「あさひかわ男女共同参画シンボルマーク」

この社会をよりよく生活しやすいものにしていくためには、男女お互いが、対等な立場での協力が不可欠です。『ASAHIKAWA』の『WA（和）』を抽出し、笑顔の男女が手をつないで協力して社会に参画していくイメージを形にしました。『W』の下の『A』は、川の街・旭川にちなんで川の流れ（と川に架かる橋）で表現しています。

※令和5年4月から次のとおり組織が変わります。

〈発行〉

旭川市 女性活躍推進部 女性活躍推進課

電話：0166-25-9785

E-mail：joseikatsuyaku@city.asahikawa.lg.jp

HP：https://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/dept/15000000/15100002/pagelist.html